

清水区まちづくり協働会議 ～清水地区～

清水区清水地区は、富士山を望む清水港のウォーターフロントを抱え、大型客船が寄港する日の出埠頭、ドリームプラザがあり、また、隣接するマリパークでは音楽フェスや海辺のマルシェ等様々な催しが行われ、多くの方々が訪れています。大型客船が寄港した際には、いろいろな国の方が周辺を散策し、区民との国際交流が行われています。

当地区では、中心部を流れる巴川を挟んで海側のさつき通りを中心に銀行、保険会社、港の関連会社がビジネス街を形成し、その先がウォーターフロントになっています。対岸には、古くからの次郎長通り商店街がありますが、最近では閉店する店舗が増え、寂しい限りです。そんな中、地区内に保存されている次郎長の生家の傷みが進み、補修が必要になったことから、これを補修、保存運動に繋げ、その結果、助成金などの官の力を借りず、多くの民間の力(自治会も参加)により補修事業を完成させることが出来ました。その後、国有形文化財の登録に繋がり、静岡市に譲渡され、保存を引き継いでいただく事になりました。

そんな背景の中、「清水区まちづくり協働会議」の取組みとして、静大生、行政、地元から清水小学校と清水第三中学校の両校PTA、自治会長の協働により、地域の交流入口の増加策とその先の定住人口増加を目指して地域の魅力掘り起こしを始めたところだ。

初年である昨年度は「おもてなし」をテーマに、外国人観光客に目を向けた、外国語ポップパネルの作成及び店舗への配布、まち歩きマップの作成を行いました。続く今年度は、「おもてなしと交流・活動人口の増加促進策」として、昨年度作成したまち歩きマップの中国語版を8月に、今年度初寄港の客船「スーパースターヴァーゴ」の船側において、上陸客に配布しました。また、情報発信として、浜田・清水地区の情報冊子の作成に取り組み、更には学生の皆さんに地区商店街等との会合にも参加していただき、若い目線、外からの目線での交流入口の増加から賑わいの復活、その先の定住人口の増加に繋がる方策に期待し、更なる活動が出来ればと思っています。

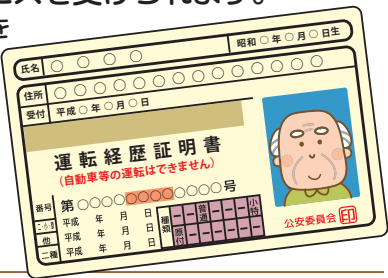


▲大型客船寄港

「運転免許自主返納者サポート事業」

運転免許証を自主返納し、運転経歴証明書の交付を受けた方が、「サポート店」で証明書を提示すると、割引などのお得なサービスを受けられます。

※詳しくは県警ホームページをご覧ください。



【問合せ先】

静岡県警察本部 交通部交通企画課 高齢者交通安全対策室
TEL.054-271-0110 (内線)711-5061～5063

■サポート店ステッカー



しずおか自治連だより

～第15号～

平成30年9月1日現在推計人口695,796人 自治会・町内会数957会

2022年度 全市一斉「静岡型小中一貫教育」スタートに向けて

静岡市では、2022年度、全市一斉に「静岡型小中一貫教育」をスタートさせます。静岡型小中一貫教育とは、小学校と中学校の「たてのつながり」と、学校と地域の「よこのつながり」を強化し、「つながる力」(社会的な絆)の育成を目指す、9年間の一貫した教育です。小中一貫教育を推進する小学校と中学校をグループ校とし、現在、グループ校ごと、学校・保護者・地域住民等で構成する「小中一貫教育準備委員会」を立ち上げ、地域ならではの特色ある教育の実施に向けた準備を始めています。

静岡型小中一貫教育カリキュラムは、以下の4つの視点を踏まえ、9年間を見通した教育を展開します。

- 視点1** 目指す子どもの姿や学校の教育目標などを小学校と中学校で共有します。
- 視点2** 授業の進め方を小学校と中学校の先生が一緒に考えるなど、9年間の連続性、系統性のある教育を実施します。
- 視点3** 美術展の合同開催など、小学生と中学生の交流や、教職員が協働する教育を実施します。
- 視点4** 地域の防災訓練や美化活動に小学生と中学生が参加するなど、地域と連携した教育を実施します。

また、静岡市ならではの特色ある教育により、「つながる力」を身に付けた児童生徒が、地域社会で「グローバル人材」*としても活躍できるようにするために、すべてのグループ校で「しずおか学」と「英語力の向上」に取り組みます。「しずおか学」では、静岡市の特色である「お茶」、「しずまえ」、「オクシズ」、「海洋文化」、「防災」、「歴史文化」に視点を当て、郷土を舞台とした学習を展開し、地域や静岡市に愛着と誇りを持ち、社会や世界に広く目を向けることができる子どもを育てます。「英語力の向上」では、地域の特色を生かした独自の英語教材「しずおかグローバルタイム」を活用した授業を展開したり、毎月一回、英語に親しむ日「イングリッシュデイ」を設定したりしながら、聞く力・話す力を高め、自分と異なる文化をもつ外国の方々とつながる力を育成していきます。

*「グローバル人材」とは、物事を世界的な規模で考えて、身近なところから行動することができる人材です。(Think globally, Act locally)



▲小中一貫教育準備委員会

はがきによる架空請求に注意!

「訴訟最終告知」「未払い金がある」「裁判になる」等と書かれたはがきによる架空請求が多発しています。はがきで裁判の通知が来ることはありません。不審なはがきが届いたら絶対に相手に連絡せず、最寄りの警察署や消費生活センターに相談してください。



柴 会 山 高 岡 坪 副 瀧 会
計 西 山 野 井 会
多 喜 一 茂 英 義
男 夫 宏 忠 弘

櫻 西 監 田 服 杉 寺 石 山 森 中 長 常
田 井 事 宮 部 山 尾 田 本 谷 村 田 任
芳 宏 昭 文 和 嘉 和 幸 雅 正 須 理
雄 博 一 則 彦 司 義 美 事
男

平成三十年度
静岡市自治会連合会役員紹介

来年2019年は2つの記念の年

今川義元公生誕500年

今川義元公・・・皆さんはその名前を聞いてどんな人物像を思い浮かべますか?「お齒黒で公家かぶれの軟弱武将」といったイメージを抱く方もおられるかもしれませんがそれは正当な評価ではないと思います。

今川家は源氏の流れを汲む名家で足利氏一門の吉良氏の分家として鎌倉時代後期に誕生しました。義元公は9代当主にあたり、今川10代230年の中で最も繁栄を極め、駿河を本拠に遠江、三河の三ヶ国69万石を所領、海道一の弓取りの異名をもつ戦国大名であり、徳川家康公と共に忘れてはならない郷土の文武両道の英雄といえます。主な功績として、外交では甲相駿三国同盟を結び領国の安定を図り、内政では寄親寄子（よりおやよりこ）制度による家臣団の結束強化、楽市楽座制による商業振興、伝馬制による海道整備、井川・梅ヶ島の金山開発による財源確保、検地の実施など先駆け的な領国経営を行いました。また、京都風公家文化を駿府の街に導入し、当時の日本三大文化の一つとして繁栄させました。

生誕500年を節目に義元公の功績を正しく評価し、より多くの市民の皆様にお知らせすべく昨年5月、臨済寺にて田辺静岡市長、酒井静岡商工会議所会頭、小和田静大名誉教授、阿部臨済寺老大師により「今川復権宣言」が行われ、官民連携の顕彰委員会が設立されました。来年5月19日、臨済寺での豊川大聖寺との生誕500年合同法要を中心に数多くのイベントが計画されております。安東地区自治会連合会もメンバーの一員に加わり、活動の下支えのお手伝いをしております。また、葵区自治会の地域連携活動として、今川家に所縁のある安東・服織・千代田・西奈・松野地区の皆様と「今川ネットワークの会」を立ち上げ、義元公顕彰をテーマに地域の歴史文化を通じて郷土愛を醸成し、住民との繋がりを深める取組みを実施していきます。



▲臨済寺 今川神廟

オクシズ旧安倍6ヶ村、静岡市との合併50周年

来年、旧安倍6ヶ村と静岡市の合併50周年を迎えるにあたり、各地区とも、これを機に様々な取組みを行っていきます。
【井川地区】
「NEXT50」をテーマに、井川大仏の改修や、もみじマラソンからトレイルランニングへの変更等、既存の行事・祭り・施設を「次の時代に合ったもの」へと見直しを行うなど、地域住民と共に新しい井川の創造に向けて取り組んでいきます。

【大川地区・清沢地区】

地域の垣根を越えた関係の構築を目指します。第2ブロック（新通他5地区）及び第6ブロック（大川・清沢他4地区）による「まちづくりパートナーシップ」の構築に向け、地域の既存行事を活用し、交流・連携を図る取組みが既に始まっています。（安倍川花火大会の草刈、聖一国師生家のしだれ桜の植樹等）

【玉川地区】

「若者が活躍できる環境づくり」を目指して、地域活動・運営を行っていきます。少子高齢化が進む中、小中一貫教育等による公共建物の再利用、既存施設の活用を通じて、地域の若者が活躍できる環境を今の私たちが作り、次の世代に繋げていきます。

【大河内地区】

当地区の産業は農林業が中心ですが、合併50周年を機に、地区内7自治会を詳しく紹介する「大河内マップ」を作成し、住民と共に第1次産業、第6次産業の振興及び新しい事業の検討に取り組んでいきます。また、梅ヶ島地区と連携を密にし、道路整備など、両地区の振興と発展にも取り組んでいきたいと考えています。

【梅ヶ島地区】

合併50周年を機に、日本三大崩の一つである大谷崩（1707年の宝永地震のときにできたもの）をより多くの人に知っていただくことで、砂防事業、治山事業の必要性を訴え、市民に自然災害に対する防災意識をより一層高めていただきたいと考えています。

「安倍川駅」新装オープン！

JR安倍川駅では新駅舎、東西自由通路、西口駐輪場に続き、東西の駅前広場が完成し、3月24日(土)に「安倍川駅フェスタ」と銘打った記念式典とイベントが開催されました。式典には田辺市長はじめ多数のご来賓や関係者にご出席いただき、地元利用者と完成の喜びを分かち合いました。長田東各自治会テントでは、おでんや焼きそばなどが販売されましたが、早々に売り切れ、大繁盛でした。また特設舞台では、太鼓、踊り、音楽演奏が催され、大いに賑わいました。安倍川駅は、今後、周辺道路の整備に加え、駿河区役所長田支所、南警察署分署等と共に、長田地区の核となることが期待されます。



▲駅舎全景



▲記念式典

大谷海岸清掃

大谷学区自治会連合会では大谷川対策委員会と合同で、毎年3回、大谷海岸清掃を行っており、今年第1回目の海岸清掃を6月17日(日)に実施しました。当日は天候にも恵まれ、学区内から326名という多勢の参加・協力がありました。また、大谷川放水路の治水保全に関わる県及び市関係者にもご参加いただきました。子供連れの家族参加もあり、大谷小の校長先生から子供達に向けたご挨拶をいただきました。

静岡型小中一貫教育の視点の一つに「地域の防災訓練や美化活動に小・中学生が参加する等、地域と連携した教育を実施する」と掲げられていますが、まだまだ、小中学生の参加は少なく、次回(9月30日(日))は今回の2倍の参加(50名)を目指します。



▲海岸清掃風景

敷地どんと焼きまつり

平成元年から続いている「敷地どんと焼き祭り」の紹介です。新年早々、1月第2日曜日に開催される「敷地どんと焼き祭り」は、敷地自治会の安泰と会員の1年の無病息災を願って行われます。約6メートルに及ぶどんと焼き飾りづくりは自治会組長、体育振興会及び潮会の方々による、支柱となる竹取作業から始まり、作成、飾りつけ仕上げ、海岸までの運搬・組立てをほとんど人力で行い、完成まで約1週間位かかります。海岸まで運ばれた飾りは最後の組立てを行い、掘った穴の中に支柱を入れ込み、ロープで引き上げて約1時間位で完成となります。当日午前9時の点火の合図により、ものすごい火柱と爆竹の音と共にわずか1分間という短い時間でほとんどが燃えてしまいます。各家庭の正月飾りも一緒に燃やし、家族の無病息災などを祈ります。すべてが燃え尽きるまでの間、子供会がお汁粉を、婦人会がとん汁を参加者にふるまいます。最後はお飾りの火で焼いた橙を竹棒に刺して家に持ち帰ります。そして、それを玄関先に立てておくと、1年間無病息災が叶うと言われています。



▲どんと焼き飾り